資料９

# 平成２８年度の肝炎対策関係の主な事業（案）

※（　）内は前年度予算額

（1）肝炎対策事業　15，946千円（3，414千円）

◆肝炎治療ネットワークの整備・機能の充実
◆肝炎対策協議会の設置（肝炎対策の総合的な推進，第2次広島県肝炎対策計画の進捗管理）
◆肝疾患診療連携拠点病院の整備（肝疾患相談室の設置，拠点病院連絡会の運営等）
◆普及啓発（肝炎に対する正しい知識・検診の受診勧奨等）

（2）肝炎ウイルス検査・治療費助成事業　706,355千円（951,038千円）

肝炎治療特別促進事業（医療費助成）
◆対象者：B型・C型ウイルス性肝炎患者
◆対象医療：B型・C型肝炎の根治を目的としたインターフェロン治療
C型肝炎のインターフェロンフリー治療
B型肝炎の核酸アナログ製剤治療
肝炎ウイルス検査の促進
◆特定感染症検査等事業
保健所における肝炎ウイルス検査及び相談事業
医療機関委託など利便性に配慮した検査体制の整備
◆制度の普及啓発

（3）ウイルス性肝炎対策《「がん対策日本一」推進事業》　12，747千円（14，457千円）

肝炎重症化・肝がん予防推進事業
◆慢性肝炎患者等に対する定期検査費用等の助成及び「肝疾患患者フォローアップシステム」を活用した継続的な受診勧奨により，肝炎の重症化・肝がんへの移行を予防
定期検査費用の助成対象者について，非課税世帯に属する者から市町民税（所得割）課税年額が235,000円未満の世帯に属する者に拡大
肝疾患コーディネーターの養成・活用
◆市町の保健師・企業の健康管理担当者等に肝炎に対する知識を普及啓発し，身近な立場から肝炎ウイルス検査の受検勧奨・陽性者に対する受診勧奨を実施
◆健康管理手帳
平成24年度から作成している健康管理手帳（肝炎患者支援手帳）の内容を一部改訂し，増刷